

## 2023 年後期 宮崎大学交換留学生 学部・学科および研究科の受け入れ要件

### 1. 教育学部

教育学部は、今学期、受け入れ体制整備のため、プログラム A、プログラム B のみの募集とします。プログラム C の募集はありませんのでご注意ください。

#### プログラム A

##### ① 紹介

教育学部の専門科目（1. 小学校、中学校の教員養成のための科目 [国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語]、2. 特別支援教育を学ぶ科目）を主として受講する学生のためのプログラムです（日本語科目及び日本事情に関する科目 [基礎教育科目] の受講も可）。専門分野の研究への高い関心と日本語能力の向上に対する明確な熱意を有し、本プログラムの授業を所定のコマ数以上、聴講または受講する能力と意欲が十分にある学生を望みます。

なお、授業は日本語で行われます。ただし、専門科目によっては少数ながら英語で授業が行われます。

##### ② 語学能力：

###### ➤ 日本語：

日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。（なお、定員に余裕がある場合、別の試験や成績証明書等で日本語能力試験 N2 相当以上とみなせると本学部が判断する者を受け入れることがある。）

##### ③ 学習履歴： ー

##### ④ 学年： ー

##### ⑤ 期間： 最長 1 年間

##### ⑥ 受け入れ人数： 今学期、プログラム A および B の受け入れ人数の合計が 3 名を超えないこととする。 なお、志願者の希望研究分野によっては 3 名を超えて受け入れることもあり得る。

##### ⑦提出書類（本人が記入する提出書類は日本語で書くこと。）

- 日本語について、語学能力を証明するもの
- 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
- プログラム A への出願であることを冒頭に明記した上で、本学部で学びたい専門分野を具体的に書いてください。可能ならば、聴講または受講したい科目名も書いてください。
- 本国の大学での学習と本学部で学ぶ専門分野がどう関連しているかを説明してください。もしも関連していない場合は、その理由を説明してください。
- 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。
- その他、上記以外で自己アピールしたいことがあれば書いてください。

\*これらの書類で判断できない場合、断ることがあります。

#### プログラム B

##### ① 紹介

中級・上級レベル以上の日本語科目及び日本事情に関する科目（基礎教育科目）を主として受講する学生のためのプログラムです（教育学部の専門科目も担当教員の許可があれば受講可）。日本語能力の向上に対する明確な熱意と日本文化の研究への高い関心を有し、本プログラムの授業を所定のコマ数以上、聴講または受講する能力と意欲が十分にある学生を望みます。

なお、授業は日本語で行われます。ただし、専門科目によっては少数ながら英語で授業が行われます。

##### ②語学能力：

###### ➤ 日本語：

日本語能力試験 N3 以上（なお、定員に余裕がある場合、別の試験や成績証明書等で日本語能力試験

N3相当以上とみなせると本学部が判断する者を受け入れることがある。）

③学習履歴： ー

④学年： ー

⑤期間： 最長1年間

⑥受け入れ人数： 今学期、プログラムAおよびBの受け入れ人数の合計が3名を超えないこととする。

なお、志願者の希望研究分野によっては3名を超えて受け入れることもあり得る。

⑦提出書類（本人が記入する提出書類は日本語で書くこと。）

- a. 日本語について、語学能力を証明するもの
- b. 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
- c. プログラムBへの出願であることを冒頭に明記した上で、本学部で学びたいことを具体的に書いてください。その際、日本文化の何に特に関心を持っているかを説明してください。可能ならば、聴講または受講したい科目名も書いてください。
- d. 本国の大学での学習と本学部で学ぶ専門分野がどう関連しているかを説明してください。もしも関連していない場合は、その理由を説明してください。
- e. 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。
- f. その他、上記以外で自己アピールしたいことがあれば書いてください。

\*これらの書類で判断できない場合、断ることがあります。

## プログラムC

① 紹介

初級～初中級レベルの日本語科目及び日本事情に関する科目（基礎教育科目）を主として受講する学生のためのプログラムです（教育学部の専門科目も担当教員の許可があれば受講可）。日本語能力の向上に対する明確な熱意と日本文化の研究への高い関心を有し、本プログラムの授業を所定のコマ数以上、聴講または受講する能力と意欲が十分にある学生を望みます。

なお、授業は日本語で行われます。ただし、専門科目によっては少数ながら英語で授業が行われます。

②語学能力： 下記の日本語および英語両方の要件を満たすこととする。

➤ 日本語： 日本語能力初級レベル以上（下記、[1] または [2] の提出が必要。）

[1] 公的な日本語試験の合格証明書

[2] 出身大学の成績証明書、および日本語関連授業担当教員による日本語能力の証明となる推薦状

英語： 十分な英語能力があること。（十分な英語能力： 授業聴講、発言が自力で可能なレベル。英語能力を示す文書の提出が必要。）

③学習履歴： 大学レベルの日本語学習経験が1年以上あること。

④学年： ー

⑤期間： 最長1年間

⑥受け入れ人数： 今学期は募集なし。

⑦提出書類（本人が記入する提出書類は日本語で書くことが望ましいが、英語で書いてもよい。）

- a. 日本語および英語について、語学能力を証明するもの
- b. 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
- c. プログラムCへの出願であることを冒頭に明記した上で、本学部で学びたいことを具体的に書いてください。その際、日本文化の何に特に関心を持っているかを説明してください。可能ならば、聴講または受講したい科目名も書いてください。
- d. 本国の大学での学習と本学部で学ぶ専門分野がどう関連しているかを説明してください。もしも関連

していない場合は、その理由を説明してください。

- e. 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。
- f. その他、上記以外で自己アピールしたいことがあれば書いてください。

\*これらの書類で判断できない場合、断ることがあります。

## 2. 工学部

### 2.1. 応用物質化学プログラム

- ① 紹介：  
応用物質化学プログラムは、化学・化学工学および生物工学を基礎として地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産および循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材を育成する教育研究を行う。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 化学または化学関連分野の学習履歴のある学生。
- ④ 学年： ー
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 2 名/期
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 研究計画書

### 2.2. 土木環境工学プログラム

- ① 紹介：  
土木環境工学プログラムでは、自然との共生をはかりつつ生活・経済・文化・安全を支える社会基盤の充実に貢献できる専門技術者を育成する。本プログラムの研究分野は、構造工学（維持管理、建設材料）、環境制御（水管理、水環境システム）、廃棄物管理とリサイクル、地盤工学（地盤防災、地盤改良）、交通および都市計画である。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 工学系の学科に所属。個別に判断する。
- ④ 学年： 特に定めない。
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名/期
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 研究計画書

### 2.3. 応用物理工学プログラム

- ① 紹介：  
本プログラムでは、講義、実験実習と卒業研究を通して、半導体材料開発など関わる電子物性工学分野と、放射線計測などに関わる物理計測工学分野、および、AI や情報などの関連分野に関する基礎知識の教育を行っている。
- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 交換留学プログラム参加時に、所属大学の物理系または電子工学系の学科に所属。
- ④ 学年： 指定なし
- ⑤ 期間： 最長 6 ヶ月間
- ⑥ 受け入れ人数： 1 名/年
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。

a. 研究計画書

その他の情報については、<http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/reorganization.html> をご覧ください。

## 2.4. 電気電子工学プログラム

① 紹介：

最先端の電気電子テクノロジーで世界をびりびりさせよう！」のキャッチフレーズの元、「再生可能エネルギー」、「医療・生体工学」、「スマートエネルギーソリューション」をキーワードとして、現代社会を支える基盤技術の基本原則と基礎知識を習得させ、社会の変化や要請に対応できることを目指しています。

② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。

③ 学習履歴： 工学系の学科に所属。個別に判断する。

④ 学年： ー

⑤ 期間： 最長6ヶ月間

⑥ 受け入れ人数： 1名/期

⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類：

a. 研究計画書

## 2.5. 機械知能工学プログラム

① 紹介：

本プログラムでは、講義、実験実習と卒業研究を通して、機械や製品の設計と製造に関する専門知識と技術、および、AI や IT などの関連分野に関する基礎知識の教育を行っている。

② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。

③ 学習履歴： 交換留学プログラム参加時に、所属大学の機械知能工学系の学科に所属。

④ 学年： 指定なし。

⑤ 期間： 最長6ヶ月間

⑥ 受け入れ人数： 1名/年

⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。

a. 研究計画書

その他の情報については、<http://www.miyazaki-u.ac.jp/mech/mprogram/english/index.html> をご覧ください。

## 2.6. 情報通信工学プログラム

① 紹介：

各教員の専門分野・連絡先については以下の資料を参考にしてください。あらかじめ本プログラムの教員とメール等で直接やりとりし、受け入れの了承を得てから、応募すること。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ict/faculty>

② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。

③ 学習履歴： 工学系の学科に所属。個別に判断する。

④ 学年： ー

⑤ 期間： 最長6ヶ月間

⑥ 受け入れ人数： 1名/期

⑦ 本プログラム希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。

a. 研究計画書

### 3. 農学部

① 紹介：

農学部は、環境問題、食の安全確保、持続的な農産物の生産、人と動物の共通感染症克服など、様々な課題に対応できる人材育成を目指し、分野を明確にした 6 学科（植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境学科、畜産草地科学科、獣医学科）を設置しています。各学科の教育分野と研究内容の詳細な説明は学部ホームページをご覧ください。

URL: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/english/>

- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 大学教養課程レベルの生物学、化学、物理学の学習歴
- ④ 学年：
  - 学部 3 年次（獣医学科を除く各学科）
  - 学部 5 年次（獣医学科）
- ⑤ 期間： 指定しない
- ⑥ 受け入れ人数： 各学科 1 名
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - a. 希望する学科あるいはコース名
  - b. 宗教（動物系の実験や実習を受講する場合）

### 4. 地域資源創成学部

① 紹介：

地域資源創成学部は、地域の持続的発展に資するべく 2016 年に開設されました。地域学部は、マネジメントの知識を得る教育アプローチを重視します。学生は、マネジメント力を強化する科目を学びますが、その際、地域に存在する課題に密接に関係する社会・人文科学、および農学・工学分野を含む多角的な領域の基礎知識も修得します。このアプローチをもって、地域学部は、社会経済的課題（例えば人口減少や地域社会経済の衰退）を解決しつつ持続可能な地域づくりを包括的にマネジメントでき、地域資源を理解し利活用しつつ地域産業やビジネス上において革新的な価値を創出できる地域創成人材を輩出することを目的とします。

- ② 語学能力： 日本語能力試験 N2 以上であること。日本語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 特に定めない。個別に判断する。
- ④ 学年： ー
- ⑤ 期間： 特に定めない。個別に判断する。
- ⑥ 受け入れ人数： 最大 2 名/期
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類：
  - a. 日本語について、語学能力を証明するもの
  - b. 高校卒業後のすべての教育機関における専門分野とその学習歴
  - c. 本学部で学びたい専門分野を具体的に書いてください。可能ならば、聴講したい授業の科目も書いてください。
  - d. 本学部での学びが自分の将来や卒業後の進路選択にどう影響するかを説明してください。

### 5. 農学研究科

① 紹介：

農学研究科（5 コース）では、学部教育の専門性をさらに深化させ、国内外の食料、環境、資源および生命に関する問題点を解決し、自然環境と調和のとれた持続的生産社会の創造に貢献できるとともに、農

学に関する高度な専門知識と応用能力を有する国際性豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を目指しています。各コースの教育分野と研究内容の詳細な説明は、農学研究科パンフレットをご覧ください。

[https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/english/introduction/pamph\\_en2017-2018.pdf](https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/english/introduction/pamph_en2017-2018.pdf)

- ② 語学能力： 英語が流暢に話せること。
- ③ 学習履歴： 希望する専門分野に関連する学士課程での専門教育の学習歴
- ④ 学年： 修士1年次
- ⑤ 期間： 指定しない
- ⑥ 受け入れ人数： 各コース1名
- ⑦ 本学科希望の際に特別に提出を要する書類： 他の申請書とともに提出のこと。
  - ① 希望する学科あるいはコース名
  - ② 大学の卒業証明書
  - ③ 宗教（動物系の実験や実習を受講する場合）

## Exchange Student Requirements of Faculties/Departments/Graduate schools of the University of Miyazaki, 2nd Semester 2023

### 1. Faculty of Education

The Faculty of Education will accept international students through Program A and Program B this semester due to the need of improving the system of accepting international students. We are sorry that we cannot accept through Program C this time.

#### Program A

##### ① Introduction:

This program is for international students who will take or audit mainly the classes of Faculty of Education (1. Classes for Elementary School/Junior High School Teacher Training [Japanese Language, Social Studies, Arithmetic (Mathematics), Science, Music, Art, Physical Education, Technology, Home Economics, Foreign Language (English)]; 2. Classes for Special Needs Education). They could also take or audit the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education).

The students in the program are expected to have a strong will and ability to participate in the classes of Program A, with a keen interest in their specialized fields and a great enthusiasm for the development of Japanese language ability.

All of the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education) and most classes of Faculty of Education are conducted in Japanese. A very few classes of Faculty of Education are conducted in English.

- ② Language Ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently. (If there is room for capacity, a student who could be considered an equivalent of the holder of JLPT N2 or higher could be admitted.)
- ③ Learning history: -
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: For a maximum of one year
- ⑥ Number accepted: The total number of students of Program A and B is 3 or less this semester. However, more than 3 students might be accepted depending on their area of study.
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application form. Write in Japanese.
  - a. Documents to prove your ability of Japanese.
  - b. Your field(s) of study after the graduation of high school.
  - c. Write at the top of the application form that you are applying for Program A, and specify your field(s) of interest you want to pursue at UOM. Write the titles of classes of UOM you are interested in, if possible.
  - d. Explain how your study at your home university is related to your study at UOM. If they have little connection, explain why.
  - e. Explain how studying at UOM will influence your future life or career.
  - f. Add anything else you want to say about yourself if you have any.

(\*Any documents that we are unable to evaluate may be refused.)

#### Program B

##### ① Introduction:

This program is for international students who will take or audit mainly the classes of Advanced or Intermediate Japanese Language and Culture. They could also take or audit the classes of Faculty

of Education (1. Classes for Elementary School/Junior High School Teacher Training [Japanese Language, Social Studies, Arithmetic (Mathematics), Science, Music, Art, Physical Education, Technology, Home Economics, Foreign Language (English)]; 2. Classes for Special Needs Education) upon the permission of the professor in charge.

The students in the program are expected to have a strong will and ability to participate in the classes of Program B, with a great enthusiasm for the development of Japanese language ability and a keen interest in Japanese culture.

All of the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education) and most classes of Faculty of Education are conducted in Japanese. A very few classes of Faculty of Education are conducted in English.

- ② Language Ability: JLPT N3 or higher. (If there is room for capacity, a student who could be considered an equivalent of the holder of JLPT N3 or higher could be admitted.)
- ③ Learning history: -
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: For a maximum of one year
- ⑥ Number accepted: The total number of students of Program A and B is 3 or less this semester. However, more than 3 students might be accepted depending on their area of study.
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application form. Write in Japanese.
  - a. Documents to prove your ability of Japanese.
  - b. Your field(s) of study after the graduation of high school.
  - c. Write at the top of the application form that you are applying for Program B, and specify your field(s) of interest you want to pursue at UOM, including what interests you most about Japanese culture. Write the titles of classes of UOM you are interested in, if possible.
  - d. Explain how your study at your home university is related to your study at UOM. If they have little connection, explain why.
  - e. Explain how studying at UOM will influence your future life or career.
  - f. Add anything else you want to say about yourself if you have any.

(\*Any documents that we are unable to evaluate may be refused.)

## Program C

- ① Introduction:

This program is for international students who will take or audit mainly the classes of Elementary or Pre-Intermediate Japanese Language and Culture. They could also take or audit the classes of Faculty of Education (1. Classes for Elementary School/Junior High School Teacher Training [Japanese Language, Social Studies, Arithmetic (Mathematics), Science, Music, Art, Physical Education, Technology, Home Economics, Foreign Language (English)]; 2. Classes for Special Needs Education) upon the permission of the professor in charge.

The students in the program are expected to have a strong will and ability to participate in the classes of Program C, with a great enthusiasm for the development of Japanese language ability and a keen interest in Japanese culture.

All of the classes of Japanese Language and Culture (Basic Education) and most classes of Faculty of Education are conducted in Japanese. A very few classes of Faculty of Education are conducted in English.

- ② Language Ability: Students are expected to meet both of the requirements of Japanese and English ability below.



Japanese: Elementary level or higher. (Submission of either [1] or [2] below is required.)

[1] the result of an official test of Japanese language ability

[2] the transcript from home university and a letter of recommendation by an instructor of Japanese language

English: sufficient English ability (i.e., able to understand the classes, speak, and write assignments on their own. Submission of documents to show English language ability is required.)

- ③ Learning history: At least 1 year of university level learning of Japanese language
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: For a maximum of one year
- ⑥ Number accepted: None this semester
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application form. Write in Japanese, but you could write in English if you prefer.
  - a. Documents to prove your ability of Japanese and English.
  - b. Your field(s) of study after the graduation of high school.
  - c. Write at the top of the application form that you are applying for Program C, and specify your field(s) of interest you want to pursue at UOM, including what interests you most about Japanese culture. Write the titles of classes of UOM you are interested in, if possible.
  - d. Explain how your study at your home university is related to your study at UOM. If they have little connection, explain why.
  - e. Explain how studying at UOM will influence your future life or career.
  - f. Add anything else you want to say about yourself if you have any.  
(\*Any documents that we are unable to evaluate may be refused.)

## 2. Faculty of Engineering

### 2.1. Applied Chemistry Program

- ① Introduction:

Based on the sciences, chemical engineering, and biotechnology, the Applied Chemistry Program aspires to nurture engineers who can contribute to the creation and development of technologies regarding the production of materials, resources, and energy as well as the cyclic process that conserves the environment and ecosystem.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Undergraduate who has earned credits in chemistry and/or related courses.
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Maximum of six months
- ⑥ Number accepted: Two students per term
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.
  - a. Research plan

### 2.2. Civil and Environmental Engineering Program

- ① Introduction: The Civil and Environmental Engineering Program provides to develop professional engineers who can contribute to the enhancement of infrastructure that supports life, economy,

culture, and safety while living in harmony with nature. Research topics of our program are structural engineering (maintenance and repair, construction material), environmental conservation (water resource, water environmental system) and waste management and recycling, geotechnical engineering (disaster prevention, ground improvement) and traffic and urban planning.

- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Belongs to the department of engineering. Judged individually.
- ④ Grade: Not specified.
- ⑤ Term: Maximum of six months
- ⑥ Number accepted: One student per term
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.

a. Research plan

### 2.3. Applied Physics and Engineering Program

- ① Introduction:  
Applied physics and engineering program offers the education in the fields of electric material science and technology, physical measurement engineering, and AI and IT technology through lectures, experiments, practices and research activities.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Undergraduate attending the department of physics, electronic engineering, and related fields in his university.
- ④ Grade: Not specified (judged individually).
- ⑤ Term: Within six months
- ⑥ Number accepted: One student per year
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.

a. Research plan

For other information, please visit the home page.

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/reorganization.html>

### 2.4. Electrical and Electronic Engineering Program

- ① Introduction: The Faculty of Engineering is deeply rooted in Miyazaki Prefecture and is involved globally, whereby the Faculty has the important missions of educating technical experts who are gifted in their understanding of humanity, communication ability, a fundamental level of knowledge, creation, and the application of such knowledge. Electrical and Electronic Engineering Program provides opportunities to study the fundamental subjects of electrical and electronic circuits, electrical and electronic information theory, and electrical and electronic materials science: as well as the main field, energy engineering, communication engineering, system engineering, computer engineering, and control engineering. These alumni are expected to contribute to the local community as well as to the international community as scientists, engineers, or researchers, who will play an important role in the development of science and technology in the 21<sup>st</sup> century.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Belongs to the department of engineering. Judged individually.
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Maximum of six months
- ⑥ Number accepted: One student per term
- ⑦ Special document for this course:

a. Research plan

## 2.5. Mechanical Engineering Program

- ① Introduction: Mechanical engineering program offers the education in the fields of not only the mechanical engineering, but also AI and IT through lectures, experiments, practices and research activities.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Undergraduate attending the department of mechanical and intelligent engineering and related fields in their university.
- ④ Grade: Not specified (judged individually).
- ⑤ Term: Within six months
- ⑥ Number accepted: One student per year
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.

a. Research plan

For other information, please visit the home page.

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/mech/mprogram/english/index.html>

## 2.6. Information and Communication Technology Program (ICT Program)

- ① Introduction: See the following for the specialized areas of each faculty member. Communicate directly with the faculty members of this program by e-mail, etc. for their approval before applying.  
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/ict/faculty>
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Belongs to the department of engineering. Judged individually
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Within six months
- ⑥ Number accepted: One student per term
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application.

a. Research plan

## 3. Faculty of Agriculture

- ① Introduction:  
The Faculty of Agriculture aims to develop human resources who can solve various issues such as environmental problems, ensuring food safety, sustainable production of agricultural products, and overcoming zoonosis. The faculty has six departments (Agricultural and Environmental Sciences, Forest and Environmental Sciences, Biochemistry and Applied Biosciences, Marine Biology and Environmental Sciences, Animal and Grassland Sciences, Veterinary Sciences). Please see the faculty website for a detailed description of the educational fields and research of each department.  
URL: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/english/>
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: History of biology, chemistry, physics at university level
- ④ Grade: -
  - 3rd year (except for Veterinary Sciences)
  - 5th year (Veterinary Sciences)
- ⑤ Term: Not specified

- ⑥ Number accepted: One student per department
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application
  - a. Department/Course you hope
  - b. Religion (if you will attend experiment and/or practice with animals)

#### 4. Faculty of Regional Innovation

- ① Introduction:
 

The Faculty of Regional Innovation, launched in 2016, aims to contribute to sustainable regional development. The educational approach of the new faculty emphasizes the need to gain management knowledge and skills. Students learn subjects with a strong emphasis on management, while acquiring basic knowledge in a range of academic disciplines needed to understand local resources and tackle regional problems related to the social sciences, agriculture, and engineering. On the basis of this approach, the faculty aims to cultivate students to become regional innovators able to comprehensively manage sustainable regional development through addressing socio-economic problems (population decline and stagnant regional economies) and to create innovative value within the regional industrial and business setting through recognizing and utilizing the available local resources.
- ② Language ability: JLPT N2 or higher. Can speak Japanese fluently.
- ③ Educational background: Not fixed, judged individually.
- ④ Grade: -
- ⑤ Term: Not fixed, judged individually.
- ⑥ Number accepted: Maximum of two students per term
- ⑦ Special document for this course:
  - a. Documents to prove your ability of Japanese.
  - b. Your field(s) of study after the graduation of high school.
  - c. Specify your field(s) of interest you want to pursue at UOM.
  - d. Explain how studying at UOM will influence your future life or career.

#### 5. Graduate School of Agriculture

- ① Introduction:
 

The five-course of the Graduate School of Agriculture offers to develop researchers who can solve global issues related to food, environment, resources and life, and contribute to the creation of a society capable of sustainable production in harmony with the natural environment. To develop international researchers with advanced specialized knowledge and application skills in agriculture, we provide education that deepens the expertise in the undergraduate. Please refer to the Graduate School of Agriculture brochure for a detailed description of the educational fields and research contents of each course.

URL: [https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/english/introduction/pamph\\_en2017-2018.pdf](https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/english/introduction/pamph_en2017-2018.pdf)
- ② Language Ability: Those who can speak English fluently.
- ③ Educational background: History of specific undergraduate education related to the specialized field you wish to study
- ④ Grade: 1st year in Master's course
- ⑤ Term: Not specified

- ⑥ Number accepted: One student per course
- ⑦ Special document for this course: Please submit with common application
  - a. Department/Course you hope
  - b. Graduation certificate
  - c. Religion (if you will attend experiment and/or practice with animals)